



飛驒市学園構想には活動を推進するコアチーム会議があります。その中に「カリキュラム」「地域学校協働活動」「広報」の3つの部会を組織し、それぞれが連携しながら取り組んでいます。7月号では、各部会の活動について紹介します。

【カリキュラム部会】

予測困難な時代を迎えようとしている今、「よりよい学校教育を通じて、よりよい社会を創る」という目標を学校と社会が共有し、連携・協働しながら、子どもたちに未来の創

り手としての力を付けるための教育課程を編成してきたのが、カリキュラム部会です。

ポイントは次の3つです。①自ら課題を見出し、情報を収集・分析することで解決していく課題解決力を育むこと。②保育園、小、中学校、高校、特別支援学校の15年間を通して、段階的に、スパイラル的に未来の創り手としての力の育成を図ること。③地域や地域人材を学びのフィールドにして「みんなで育て、みんなが育つ魅力あるまち」の実現を目指すこと。カリキュラムの計画、実践、改善を繰り返しながら、『志を語り合い しなやかに 挑み続ける 飛驒びと』を育みます。

【地域学校協働活動部会】

地域で元気の出る協働活動が展開されることを目指し、①お互いが学び勇気づけあえる繋がりを作ること ②地域学校協働活動の協力者を増や

すこと③ボランティアベースの活動を持続可能にすることの3つの重点課題を解決するための戦略を考えています。そこで、各校区の地域学校協働活動推進員の方と対話を行ったり、他の自治体の実践や市内の活動を共有することができる場を設けたりしています。さらに、活動を広く知っていただくために広報部会と協力し情報の発信を行うことも大切にしています。

【広報部会】

飛驒市学園構想の概念や各校区で行われている活動などを、市民の方を中心に広く情報発信を行っています。このプロジェクトがスタートした令和2年度には学園構想を紹介したリーフレットを作成したほか、令和3年度から広報ひだでの連載をスタートし、より市民の皆さんに知ってもらえるよう取り組んでいます。

問 学校教育課 ☎0577-73-7494



ドクダミがよく育ち、花も咲き始めました。ドクダミは生命力の強い雑草ですが、実は生薬名で十薬（たくさんの効能があるという意味）と言われるほど効能が多い薬草です。

民間薬の代表的存在であるドクダミは、三毒（先天、後天の毒、食毒）を消すと言われ、村上先生がドクダミだけを紹介した本を書かれたほどの活用法があります。

ドクダミは乾燥葉と生葉では違う効能を示し、乾燥葉は解毒、利尿、整腸剤、高血圧、アレルギーなど、

生葉は排膿、抗菌作用と大きく変わります。

活用法として手軽なのは、乾燥ドクダミ葉で、各地の産直市場などでよく見ますし、自分でも作れます。

生葉の排膿、抗菌の効果を得るには青汁を飲むのがよく、その場合は絞った青汁を1～2日ほど冷蔵庫に入れておくと独特の臭いが取れます。飲む際にはハチミツを混ぜると飲みやすいですし、少しあら塩を加えると効果が早く出るそうです。青汁を皮膚に直接塗布すると湿疹やニキビ、切り傷などに効果があります。

生葉と乾燥葉の効果を併せ持ち、更に強精効果まであるのがドクダミ酵母液です。青汁にハチミツを加えて発酵させますが、色、味、香りが青汁とは別物で、強精効果は高齢の方ほど少量でも効果が表れやすいのが特徴です。

こんな素晴らしいドクダミ酵母液や青汁を作るなら、ひだ森のめぐみに導入された絞り機を利用してください。年1回のドクダミ絞りのためだけに高価な絞り機を個人で買うのはコスパが悪いです。ひだ森のめぐみでは絞り機以外にも乾燥加工や粉末加工をいずれも有料で請け負っています。

薬草の加工に機器を活用して作業効率を上げてみませんか。



効能 (葉部)	【乾燥葉】 解毒、利尿、整腸剤、高血圧、アレルギーなど 【生葉】 排膿、抗菌作用など
採取先	野山、庭先、産直市場など

問 まちづくり観光課 ☎0577-73-7463